

脳卒中地域連携普及推進強化事業

【目的】 急性期から回復期、維持期、在宅期への円滑な連携、連携強化のため、研修会を開き、総合的な脳卒中医療連携体制づくりを円滑に効果的に推進する。また、地域連携パスのバリエーションについて分析を行い、推進強化を図る

【委託先】 地域連携パスもも脳ネット幹事病院
(平成30年度 岡山市立市民病院)

【内容】

1. 実務者会議（年4回程度）

実務者会議（もも脳ネット理事会）で、地域連携バスの運用や各事業等について協議する。

評価事業（年4回程度）

もも脳ネット運用会議で96医療機関（急性期機関24施設・回復期リハビリ機関40施設・維持期機関32施設）を対象に地域連携バスの運用評価や検証を行う。

2. 連携強化のための研修会（年2回程度、1回は出前研修を開催）

多職種連携強化と地域連携パスの普及・活用を図る。

- ・ 出前研修は11月上旬に玉野市での開催を予定している。

テーマ

「プレホスピタルからの脳卒中・骨折患者の急性期対応」

- ・ 2019年1月27日に岡山市立市民病院多目的ホールにて、連携強化のための研修会と県民フォーラムを開催する。

テーマ

「脳卒中、骨折と認知症について（仮）」